

# 水防工法に使用する主な縄結び

「水防工法テキスト」(一財)北海道河川財団より

## ① 「の」の字結び



別名「の」の字掛け」「交差結び」ともいう。  
※「半結び」: 結ぶ=固定が伴わないことから「結び」といわず「縄を殺す(動かなくする)」と言っていた。(※印注釈: 河村氏)

木流し工(土のう)、シート張り工(シート釣りロープと単管結合)

## ② かみくし



別名「巻き結び」ともいう。  
両端に力がかけるところに使う。  
※徳利等を吊り下げる時は「徳利結び」

木流し工(重し土のう取付)、シート張り工(重し土のう固定、あおり止め重し土のう)

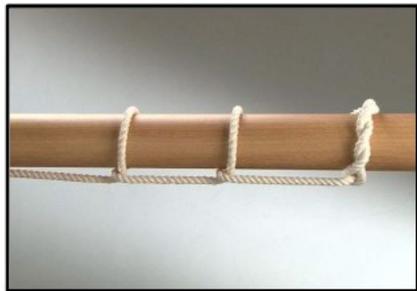
## ③ フナ結び



別名「ひと結び」ともいう。元なわに力がかけると固く結ばれ、力がかけなくなると簡単にほどける。※舟を係留する時の結び。「8の字結び」という地域もある。

木流し工(土のう取付)、シート張り工(吊りロープ先端の重し土のうと単管結合、おろしロープ下部の単管結合、止杭固定)

## ④ イワシ結び



別名「引き綱結び」ともいう。※尺物のつり上げ、引っ張る時のブレ止めを行う時に取り付ける縄。という意味で「介錯縄」と言っていた。

木流し工(吊りロープ)

## ⑤ イボ結び



別名「男結び」「俵結び」「垣根結び」ともいう。雪つり、荷物の梱包などにも使う。  
※「男結び」は男の角帯の結び方からついた呼び方。

木流し工(土のう)、シート張り工(シートと単管結合)、月の輪工(排水パイプと杭の固定)、改良積み土のう工(鉄杭とシート固定)

## ⑥ もやい結び



命綱等に使う。※舟が舟を曳航する時の結び。その様子を蓮根が繋がった状態に見えることから、「連舫」ともいう

木流し工・シート張り工(命綱)

※⑦「本結び」も使用